

八重山歴史研究会報

二〇一〇年二月例会△云報生口

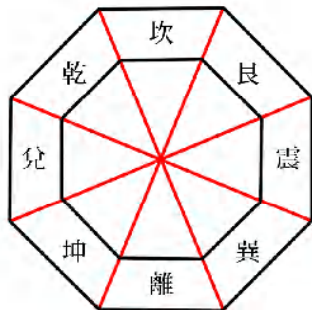
今回も『北木山風水記』（石垣市史叢書一六）の読み合わせを行いました。「四村風水記」の部分の読み合わせでは、「川良山」の名称について、「川良山道」を題材に、「川良の山道」「川良山の道」という地形と名称の問題についても議論になりました。

『北木山風水記』は風水書、歴史書としての史料価値もありますが、地名やその土地の特徴などを示す内容も多く見られます。読み合わせの中、こういった問題にも話題がおよぶことは会員相互の研鑽にも繋がっていきまます。

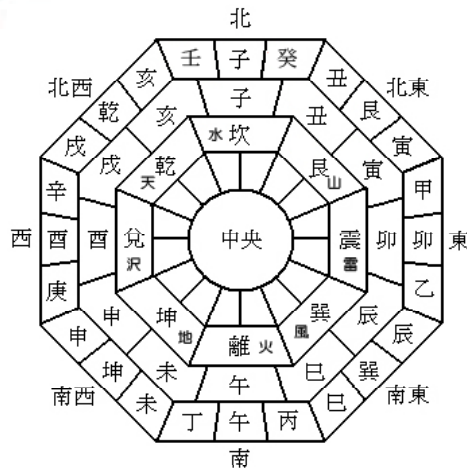
例会が月曜日開催になり、日中仕事を持つ会員の参加が難しくなっている現状がありますが、出来る限り定期的な開催ができるよう会長、副会長、事務局ともども努力していきたいと思います。

なお、『北木山風水記』を読むために、次の図を資料として配布いたします。

第 59 号



八卦



二十四掛
丸文字はその方位
が持つ自然の意味

編集・発行 八重山歴史研究会
 発行日 二〇一〇年三月二十九日
 事務局・会計 島袋（八重山博物館） 〇八二一四七二二
 題字 玻名城泰雄氏